



ふんぽりし

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.13

2012年3月発行

協会の運営に会員皆さんの知恵と力を！



協会部会制を導入

事業部会発会式で集まった部会協力者の皆さんを前にあいさつする福田会長

白山市国際交流協会では、協会の事業運営組織として事業部会を導入しました。

これは、協会事業の企画段階から会員の皆さんに関わっていただき、会員の皆さんのお知恵とお力をいただきながら、事業を運営していく仕組みです。

白山市国際交流協会の事務局は、設立以来、行政に置かれており、これまでイベント等の各協会事業については、事務局である市国際交流課が企画運営し、その内容に沿って、会員有志にご協力をいただいていたのですが、この事業部会制の導入によって、今後は、会員の皆さんが主体的に協会事業の運営に関わっていただける体制とするものです。

3月4日には、松任文化会館において、協会理事及び部会への協力の申し込みがあった55名の皆さんが出席し、事業部会発会式を開催しました。発会式の後、各部会に分かれ第1回目のミーティングを行い、それぞれの担当事業について意見交換を行いました。

C・O・N・T・E・N・T・S

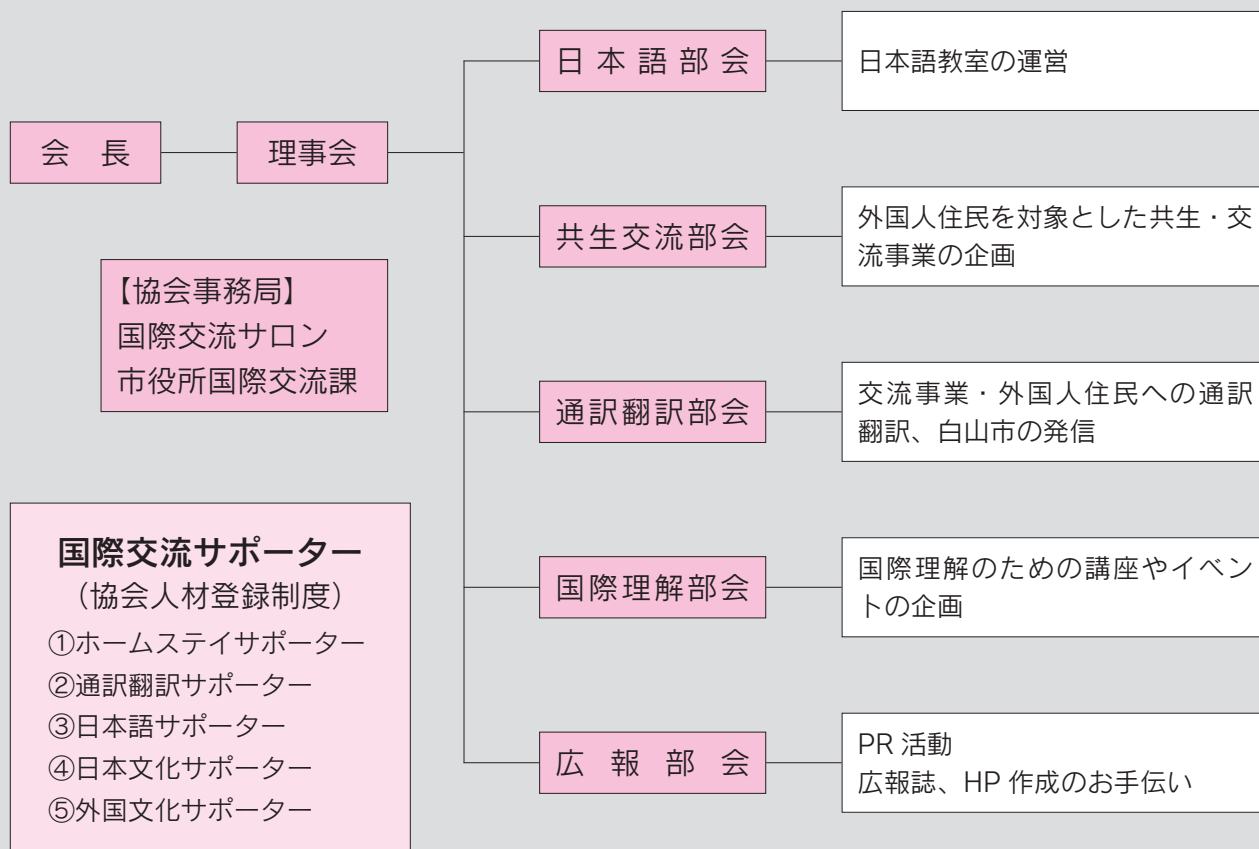
- 特集 協会部会制を導入..... 1～2
- H.I.A.だより..... 3
- 国際交流サロンのページ..... 4～5
- クリスからのお便り..... 6
- シリーズ アメリカ・ヒューストン奮闘記..... 6
- JICA現地レポート 7
- H.I.A.トピックス..... 7
- H.I.A.からのお知らせ..... 8



今後、部会活動の窓口となる市国際交流サロン(古城町)

事業部会導入後の協会組織図は下記のとおりです。5つの事業部会では、主に下記の事業の運営を担当することになります。また、国際交流サポーターの皆さんには、それぞれの事業でご協力をお願いしていきたいと思っています。

白山市国際交流協会組織図



部会制導入の基本的考え方 —協会活性化と市民協働—

市国際交流協会の発足当時、協会事業は、海外の姉妹都市との交流活動が主な活動でした。しかし、近年の外国人研修生や国際結婚等の増加により、外国人市民が急増しており、日本人市民と同様に、これらの人たちが地域で安心して生活できるための支援施策・多文化共生施策が国際交流業務の重要課題となってきています。このほか、協会には、従来から実施している日本人市民を対象とした国際理解のための事業や、観光インバウンドのための市発信事業等多岐にわたるニーズに対応することが求められており、そのためには、行政のみの対応では難しく、市民皆さんの協力が不可欠です。その住民力を活用する国際交流の中核組織「市国際交流協会」の役割がますます重要となってきています。

部会制導入は、会員の皆さんのお知恵とお力をいただきながら、協会活動を活性化させるとともに、行政、協会、住民がそれぞれの役割を担い、お互いに協力しあって目標を実現していくための第一歩と考えています。



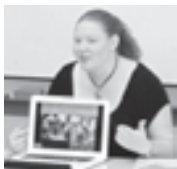
発会式全体会の後、各部会に分かれて、第1回部会ミーティングを開催しました。
(写真は、国際理解部会の様子)

おしゃべりサロン

10月15日、22日、29日、11月5日、12日(全5回)

毎回、外国人住民をゲストに迎え、日頃感じていること、日本で生活しての感想、または、自国の文化や生活等のお話を通して、地域住民と語り、交流することを目的としたふれあい型の国際理解講座を開催しました。

オーストラリア人、ブラジル人、カナダ人、フィリピン人がゲストとなって、写真紹介やクイズを行うなど、とてもリラックスした雰囲気の中、皆さんと楽しい時間を過ごしました。



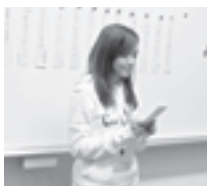
▲オーストラリア出身のイングリッド・フィツシュさん

アジアフォーラムin石川 白山プログラム

11月16日～17日

毎年、日航財団がアジア・オセアニアの大学生(奨学生、通称スカラー)を日本に招待し、研修や文化交流を通じて日本への理解を深め、交流促進を目的として行われている事業です。白山市プログラムでは、俳句ワークショップを行い、参加したスカラー16名は市松任俳句協会会長亀田勉さんの指導により、自作の句作りに挑戦しました。完成した句は全員の前で発表しました。

また、その後の歓迎夕食会では、母国の民族衣装で参加し、自己紹介やアトラクション披露を行いました。



▲自作の句を発表



▲民族衣装で参加したスカラー

藤枝市国際友好協会との交流

11月17日～18日

藤枝市国際友好協会の後藤会長はじめ理事のメンバー等12名が来市し、福田協会長はじめ理事の皆さんと意見交換会を行いました。両協会の概要や事業内容について交互に説明し、意見交換をしながらお互いの理解を深め合いました。翌日は、鶴来地区の視察を行い、両協会の親睦を一層深めることが出来ました。



▲白山比咩神社を見学する藤枝市国際友好協会の皆さん

世界の料理と文化を学ぼう ペルー料理

11月22日

ペルー料理教室を、同国出身で市内在住の宮川マリツザさんを講師に、美川文化会館の調理室で開催しました。口モ・サルタード・デ・カルネ(お肉)、口モ・サルタード・デ・ペスカード(魚)の2種類と、サルサ、パパ・コン・アツン(ジャガイモとツナの煮物)など、代表的なペルー料理を紹介してくれました。特に、パパ・コン・アツンは参加者の皆さんに大好評でした。



料理が完成し、参加者と記念撮影(マリツザさん写真中央)

韓国料理

11月30日

韓国出身の関興基(ミン・フンキ)さんを講師に、市鶴来保健センターで韓国料理教室を開催しました。

今回は、キムチチゲ、チヂミ、豆もやしナムルの3品を作りました。調理前には、料理の栄養や食材の豆知識等、解説を交えながら参加者の理解も深め、とても満足度の高い教室となりました。



チヂミの焼き方を教えているミンさん(写真左)

第17回国際フレンドシップアート展

10月21日～2月9日

親善友好都市等の小中学生の絵画を一堂に展示する国際フレンドシップアート展が開催され、市内小学生を含む7カ国8都市、計132点の作品を市内4カ所の施設や小学校で展示しました。また、市内在住の画家西のぼる先生によって、各都市から1点の優秀作品が選ばれ、これらの作品は、市のホームページでも紹介されています。



▲松任図書館での展示会

年忘れ！国際交流の集い

12月11日

毎年恒例の協会員と外国人市民との交流を深める「年忘れ！国際交流の集い」がサンライフ松任で開催され、13ヶ国81名の外国人の皆さんと協会会員等総勢175名が参加しにぎやかに行われました。

今年は世界の料理コーナーがあり、参加外国人が作ったペルー料理やスリランカ料理、ブラジルのお菓子などが並べられました。アトラクションでは、外国人による着物ショーの他、メインでよさこいチーム「金沢城梅紅」のメンバーが登場し、パフォーマンスを見た後、みんなで鳴子を持ってわいわい楽しく踊りました。



▲みんなで楽しくよさこいを踊りました

桑島雪だるままつりツアー

1月27日

冬の白山市の魅力を留学生など外国人の皆さんに体験してもらおうと、当協会とまるごと白山ファンクラブとの合同企画で桑島雪だるまツアーを開催し、11ヶ国28名の外国人とファンクラブ会員等8名がツアーに参加しました。

参加者はバケツを使いながらのオリジナル雪だるまづくりを体験しました。個性豊かな雪だるまが会場をより一層華やかにし、夜のキャンドルライトアップでは幻想的な雰囲気をかもし出していました。ワークショップ後は、食べ歩きをしながら、軒先にたくさん作られた雪だるまの見学を楽しみました。



▲雪だるまを飾りつけ中♪



“サロンのページ”

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間	午前9時～午後6時
休館日	月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日まで
場 所	〒924-0872 白山市古城町2 (学習センター向い、松任文化会館横)
TEL/FAX	274-3371
E-mail	misalon@asagaotv.ne.jp http://www.asagaotv.ne.jp/~misalon/

始まりました！会話クラス 「教える場」から「お互いが学び合う場」へと

昨年夏、石川県国際交流協会主催の日本語講師スキルアップのための出前講座で指導いただいた新しい教室スタイル「交流型クラス」を取り入れた「会話クラス」が、11月から毎回テーマを設け、毎月第3日曜日、第4火曜日に行われています。このクラスに集まる外国人学習者はレベル、国、生活環境も違います。日本語サポーターは、言葉に気をつけながら楽しく会話をするように、手振り、身振りも入れ、学習者の言葉を引き出すことを第一に心がけ、試行錯誤で取り組み中です。サロンの日本語サポーターの心構えは、「1. 笑顔で、楽しく 2. 尊敬の気持ちで 3. 一緒に学ぶ 4. 我慢強く、根気強く 5. 聞き上手になること」です。外国人、サポーター同士のつながりもできつつあり、サロンの日本語クラスに新しい風が吹いています。

《参加した外国人学習者の感想》

- 中国人研修生
 - ・難しかった。少しは、わかりました。楽しかった。
 - ・日本人（サポーター）が多かったので、できればもっといろいろな国の人が集まったら、もっと楽しいのになあと思った
- 台湾出身の主婦
 - ・楽しかった。役に立った。うまくしゃべられるようになって、他のお母さんとも会話ができるようになりたい。
 - ・声のかけ方とかお母さん友達を作っていきたい。



2月の会話テーマは、今年の抱負。その後、ことわざカルタをしました。中央は日本語サポーター

地域のゲストを招いて開催する「わいわいクラス」

地域のゲストを招いて、生活に密着したテーマで在住外国人と自由会話する日本語クラスです。日本の習慣やマナーなどを学んでもらうとともに、学習者に自発的な会話を促すためのクラスです。

第1回目のわいわいクラスは、2月19日に行われました。外国人住民がより安全に暮らすため、松任警察署交通課の柄本さん、警備課の島方さんお二人をゲストにお招きし、交通ルール、特に自転車の乗り方についてお話をいただきました。臨時の“日本語サポーター”となったお2人は、事前にサロンの日本語サポーターと打ち合わせを行い、わかりやすい日本語とイラストなどを活用しながら、ゆっくりと丁寧にお話をいただきました。参加したフィリピン、ベトナム、中国出身の参加者からも、「駅の駐輪場に夜、自転車を置いてもいいですか？」、「音楽を聴きながら自転車に乗ってもいいですか？」、「信号機が赤でも車が来なかったら渡ってもいいですか？」などの質問が出ました。もちろん、完全な日本語ではありませんが、自発的な会話を引き出し、会話能力の向上を目指すのがこのクラスの目的ですからそれでもOKです。「急がば回れ」のことわざも学び、終了しました。これからも地域のゲストを招いて、日本の生活や習慣、ルールなどを学びながら、地域住民との交流の場を提供するとともに、学習者の会話能力を向上させる機会にしていきたいと思えます。

※サポーターとして、わいわいクラスの地域ゲストになってみませんか。美容師の方、お医者さん、お坊さん、商店街の方など大歓迎です。ご協力お願いします。



松任警察署のお二人を招いて開催されたわいわいクラス

国際交流サポーターとして外国人市民も活躍しています

協会では市民参加による国際交流活動を促進し、草の根レベルの国際理解と友好親善を深めるため各分野で登録する「国際交流サポーター」登録制度を行っています。現在、延べ163名の方に登録いただいておりますが、中でも、外国文化サポーターに登録いただいているお一人が、中国大連市出身の孫穎（そんえい）さんです。孫さんは、2010年10月に国際結婚のため来日しました。以来、週に一回、サロンで日本語を勉強しており、今では、日常会話ができるくらいにまで上達しました。料理がとても得意で「中国料理の紹介」で登録いただいております。早速、子育てサークルの研修会の講師として、孫さんに依頼があり、健康センター松任で開かれた水ギョーザ作りでは、皮作りから包み方まで丁寧に指導し、参加者からも大好評でした。



水ギョーザの作り方を指導する孫さん

English Chatを開催しました

日頃、英語の能力を磨こうとしているが、英会話スクールは高価だし、敷居が高い、英語はある程度しゃべることができるのに、なかなかネイティブと話す機会がないと嘆く人などの希望に応えようと、サロンの研修室を利用して、2月25日土曜日の午後の90分、イングリッシュ・チャットが開催されました。アメリカ人3名、日本人4名が参加しました。「英語のシャワーを浴びられて楽しかった」、「ハイレベルでついていけなかった」など感想はさまざまでした。この会は、協会会員の方からの提案による自主活動です。原則として、会費はお茶代として200円程度。参加者は、英語でコミュニケーションしたい日本人、外国人誰でも、国籍、年齢、資格など制限はありません。次の開催日時は未定ですが、この会に賛同する方、次回開催の連絡がほしい方は、ぜひ、サロンまでご連絡ください！

友だちの輪

(外国人市民を紹介するコーナーです)

ピン・ケイシーさん
(アメリカ出身、井口町在住)



8年前、日本に来ました。ずっと日常会話を勉強していますが、漢字をあまり読めません。やっと、サロンで週1回、漢字の勉強を始めました。漢字を勉強して、何でも読んでみたいです。

3月31日(土)、松任図書館で行われる世界の絵本読み聞かせでアメリカの絵本を読みます。私にも小さい子供がいるので、絵本の読み聞かせには慣れていません。皆さん、来てくださいね。

※3月31日の絵本読み聞かせの詳細はHIAからのお知らせ(P8)をご覧ください。

新しい日本語サポーターにインタビュー

サロンでは、会話クラスのスタートにより、新しいサポーターさんが増えています。

- 国際交流サロンの日本語教室では、いろいろな国から日本に来て日本語を勉強している人たちに出会うことができ、とても楽しいです。そんな皆さんに少しでも「日本って楽しいところだな」とか「日本に来てよかった」と思ってもらえるように、いつも楽しく会話しながら勉強しています。日本語を通して、サロンでもっとたくさんの人に出会って、まだまだ知らないことをいっぱい発見できたらとてもうれしいです。(M.Tさん)
- 初めてのサロンの会話クラスにサポーターとして参加しました。外国人の方々とのアットホームな雰囲気の中、heartが在れば国境はないのだなあと思いました。その後、サロンからの紹介を受け、石川県国際交流協会主催の交流型教室基礎講座に参加しました。そこでは自己紹介から始まり、気がつけばすっかり緊張感が消え、打ち解けていました。ポルトガルの授業では日本語を一切使わず学習者の立場を学びました。何気なく毎日使っている日本語が外国人にはとても大変なこと、改めて日本語を教える難しさを痛感させられました。この貴重な体験を生かしてサロンで少しでもお役に立ち、楽しく過ごせる様努力していきたいと思っています。(K.Mさん)

せんぱいがいこくじん さ ぽ - た - ぼしゅう 先輩外国人サポーター募集

にほん き ま がいこくじん かた こば しゅうかん
日本に来て間もない外国人の方は、言葉や習慣、
ぶん かが ちが にちじょうせいいかつ な
文化の違いにより、日常生活において、慣れないこ
とがたくさんあります。そんな外国人の方が安心して
せい かつ おく しゅうしんこく せんぱい つうやく
生活を送れるために、出身国の先輩として、通訳や
ほんやく ぼ しけんしん さい てつだ せん
翻訳、母子健診などの際にお手伝いをしてくださる先
ぱいがいこくじん ぼしゅう
輩外国人を募集しています。

きょうりょく ねが もう こ
ご協力をお願いします。申し込みはサロンまで。

Hello from Chris! クリスからの便り

クリス・カナリアートさん（アメリカ、ニューヨーク州出身）

¡Hola mi amigos en Hakusan-shi y Ishikawa-ken!
¿Como esta?

I'm sure some of you have been wondering what kind of adventures I've been up to. My travels over the last year have taken me through 6 states of the American southwest and across Latin America through 8 countries.

I've met wonderful people and seen some of the most amazing places on Earth. The most life changing event was joining and participating in couchsurfing. Couchsurfing is an organization that connects people willing to meet and/or host travelers for free so there can be an exchange of culture. I stayed in over 2 dozen homes and was able to introduce many people to Japanese green tea, from Shizuoka-ken.

Hope you are well and warm.

-Chris



This is trick photo on the salt flats. It looks like ice and snow, but if you look closely you'll see a hexagon pattern of salt on the ground. Note also that I'm wearing shorts.

こちらはボリビアの塩湖のトリック写真です。まるで、氷か雪の上に座っているみたいでしょ？よく見ると、六角形の塩の結晶が！短かいズボンでも日中は大丈夫な温度なのです。

白山市と石川県の私のお友達のみなさん、こんにちは。お元気ですか？（スペイン語）

私がどんな冒険をしてきたのか、みなさん気になっていることと思います。昨年私はアメリカ南西の6つの州と南アメリカ8つの国を横断してきました。その旅の中で、すばらしい人々と出会い、地球に存在する驚くべき場所へ実際に行くことができました。私の人生を最も大きく変えてくれたのは、Couchsurfing（カウチサーフィン）との出会いでした。Couchsurfingとは、旅人に会いたい人、旅人をホストしたい人をつなげる文化交流を目的とした慈善機構です。この機構のおかげで、私はたくさんの家にホームステイし、静岡県産の緑茶を南アメリカに広めることができました。寒い日が続きますので、暖かくして健康に気をつけてください。

クリス



This is a group of people we met through couchsurfing in La Paz, Bolivia. The guy and girl in red, in the front, were hosting us.

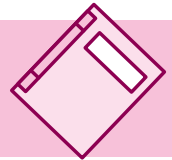
このグループはボリビアのラパスでカウチサーフィンを通して出逢った人たちです。赤い服を着た前の男性と女性が私たちのホストです。

クリスさんは、平成17～21年まで、当協会主催の語学講座の講師として活躍するなど、協会事業に貢献。平成23年からは7年間過ごした石川県を離れ、南米チリへ。この度、クリスさんから協会にお便りが届きました。



シリーズ アメリカ・ヒューストン奮闘記（最終回）

ヒューストン日本語補習校 校長 中島 満先生



日本から落語の古今亭菊志ん師匠がヒューストンを始めテキサス州内4都市での落語ツアーを開催し、最終開催場所として本校で公演を行いました。2月18日、幼稚園児から高等部までの児童生徒と教職員、招待客等約400名が菊志ん師匠の洒脱かつ軽妙な語り口調に爆笑と歓声がとどろきました。外国の補習校での公演は初めてと言うことでしたが、さすがに噺家、子ども達を集中させる技量は素晴らしいものでした。途中、生徒を1人指名し、蕎麦をすすする音と姿を実演させ、大きな拍手を得ました。次いで、女性の艶っぽい姿の一例として、右耳のイヤリングを左手で外す所作に、生徒に次いで私も指名されました。何分にも65年間も男性を務めてきた私ですから、そんなに上手にできる筈がありません。しかし、指名され、「出来ません。」と言うのもいかなものかと思ひ、渋々やりました。顔がほてる思いでした。日頃の私の様子からはほど遠い所作に会場一同大爆笑。拍手や笑いあいの伸び伸びと楽しむ姿を見て、“これが子ども本来の姿”との思いを新たにしました。

最後に「がんばれ、日本！」と東日本大震災復興への祈りを込め、全員で大合唱しました。



指名され高座にあがる中島先生

中島先生ヘインタビュー

○一番の思い出は？

3月11日の東日本大震災と原発事故の被災者に対し、卒業式で全員黙祷を捧げ、その後、募金活動をしたこと。

とても悲しく切ない思いをしました。補習校の子ども達もとても悲しみました。集めた募金を一時帰国の際、福島県まで届け、直接子ども達の思いを伝えました。

○白山市の子供たちへのメッセージは？

自分の国や住むまちの歴史や伝統、文化に対して誇りを持つ教育の推進が大切です。ヒューストンの人たちは、自分たちをヒューストンニアンと自称するくらいアイデンティティと誇りを持っています。さしあたり、白山市民は、ハクサニアン！か。そして、国際人となるためには、多様な文化の違いを受け入れる寛容さが大切です。外国語を学習する前に、まずは母国語である日本語をしっかりと身に付けることが大前提であると思います。外国語は、数年間外国暮らしをすれば、ある程度の会話力がつきます。要は、思考する基となる日本語をより深く自らのものにすることが第一です。

プロフィール：アメリカテキサス州ヒューストンにある日本語補習校（生徒350余名）校長。鶴来中学校校長を定年退職後の平成21年3月、文部科学省シニア派遣教員として着任。この3月末、3年間の赴任を終え帰国、白山町のご自宅に戻られます。先生の帰国により、ヒューストン奮闘記は、今回で終了いたします。

今回は「現地でお気に入りのもの」をテーマに記事を書いてもらいました！



隊員名：小堀香奈さん(千代野東四丁目)
派遣国：ウガンダ
職種：音楽
派遣期間：2010.7～2012.7

ウガンダでのお気に入り、たくさんあります。ビクトリア湖、芯まで食べられる甘いパイナップル、明るい月、大きな太陽、チテンジというカラフルな布、美しい鳥たち、過ごしやすいお天気、でも1番はウガンダ人の陽気で人懐っこい人柄と顔！私のウガンダ生活をたくさんのお気に入りか支えてくれています！



小堀さんと生徒の男の子



隊員名：松田朋美さん(北成町)
派遣国：ガーナ
職種：感染症対策
派遣期間：2011.9～2013.9



ガーナの小さなお友達です。ガーナの人達はフレンドリーで優しい人ばかりです。私が彼らのお家の前を通ると、「トモミー!!」と叫びながら来てくれます。ガーナでは小学校から英語の授業があるので、子ども達とはお互いにつたない英語で会話しています。ガーナは本当に子どもが多く、一軒に10人前後は子どもがいます。ファミリープランニングがこれからの課題ですね。



駆け寄ってくる子供達



隊員名：佐戸めぐみさん(湊町)
派遣国：エチオピア
職種：体育
派遣期間：2011.9～2013.9



サラムタ！
エチオピアのローカル言語であるアムハラ語でサラムタ=挨拶です。エチオピア人はとっても挨拶にかける時間や挨拶をし合う機会が多いです。毎日同じ人と何度会っても必ず“サラムノ？(元気ですか?)”と問われます。ただ、これに元気づけられたり、今では大大大好きな言葉の一つとしてこれがないと私の生活は始まりません！



隊員名：落合 真さん(千代野南二丁目)
派遣国：カメルーン
職種：放送
派遣期間：2011.6～2013.6



毎週金曜日の礼拝後、モスクから宮殿までパレードを行うスルタン(王様)。馬、笛吹き、扇持ち、槍持ちなどを引き連れての大行進。沿道の女性(おばさん)からの黄色い声援を受ける姿はまるでジャニーズのコンサートのようです。



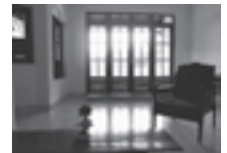
笛を吹きながら行進する様子



隊員名：原 加世子さん(上安田町)
派遣国：スリランカ
職種：コンピュータ技術
派遣期間：2011.10～2013.10



①スリランカでは見知らぬ人同士が助け合う習慣が残っています。特に女性に優しく、バスの中では満席でも、たいてい男性から席を譲って頂けます。ただし、長距離移動のバスなどで、空席が無い場合、男性は乗せてもらえたりしますが、女性を長時間立たせておく訳にはいかないので、乗車拒否されたりします。
②職場から帰宅し、夕日が沈むまでの時間を下宿先の共有スペースでのんびり過ごしています。最初、スリランカの家は日当たりが悪くあまり好きではありませんでしたが、日差しの強すぎるこの国では、適度な日陰と風通しが重要なのだと、ようやくわかってきました。夕方の時間が大変気持ちよいです。



下宿先の共有スペース

※他にも、現在、青年海外協力隊員として長原亮太さんがルワンダで、シニア海外ボランティアとして中田勝之さんがペルーで活動されています。

H.I.A. TOPICS

《白山石川ロータリークラブ創立10周年記念》

白山市国際交流協会に30万円の寄附

平成23年11月12日に松任グランドホテルで開催された白山石川ロータリークラブ創立10周年記念式典に作野市長が出席し、同クラブの高松喜代志会長から「青少年の国際交流活動事業として30万円」の目録が贈呈されました。

同クラブは、奉仕プロジェクトとして交換留学生の派遣・受入やインターンシッププランの推進など国際交流活動等を通じた青少年の育成に努めており、市国際交流協会では、来日したこれらの交換留学生が言語や生活上において支障なく過ごしてもらえるよう、国際交流サロンでボランティアによる日本語指導や生活上の問題に対する相談などの個別サポートを行っており、それらの貢献に対するご寄付です。

協会では、この寄附金で国際交流サロンに新しいパソコンを導入しました。



▲高松会長から目録を受け取る作野市長

H.I.A.からのお知らせ

平成23年度会費を納めていただいた特別会員(企業・団体)の皆さんです。厚くお礼を申し上げます。(敬称略、50音順)

No.	名 称
1	(株)あさがおテレビ
2	(株)浅野太鼓楽器店
3	石川情報交流事業協同組合
4	医療法人社団 白山会
5	(有)印刷のシコー
6	エース物流サービス(株)
7	(株)エヌティエル
8	学校法人 金城大学短期大学部
9	協和道路(株)
10	グランドホテル松任
11	高齢者レクリエーション教室
12	(株)JTB中部金沢支店
13	(株)スノーエリアマネジメント白山
14	TEAM はくさん 21
15	千代野建設(株)
16	鶴来商工会
17	鶴来ライオンズクラブ
18	手取川七ヶ用水土地改良区

No.	名 称
19	(有)東栄工業
20	(株)トスマク・アイ
21	トップツアー(株)金沢支店
22	中村留精密工業(株)
23	(株)ナナオ
24	ニッコー(株)
25	(株)日本旅行 金沢支店
26	能登印刷(株)
27	白山石川ロータリークラブ
28	白山市管工事協同組合
29	白山市北消防団
30	白山市体育協会
31	白山市町会連合会
32	白山市日本中国友好協会
33	白山市松任文化協会
34	白山商工会
35	白山商工会議所
36	白山市ロシア協会

No.	名 称
37	白山青年会議所
38	白山ロータリークラブ
39	(株)羽田合金
40	(株)フードサービス松任
41	(有)フジタ印刷
42	(株)北國銀行松任支店
43	前田印刷(株)
44	(株)松建
45	松任市農業協同組合
46	松任土地改良区
47	松任ライオンズクラブ
48	(株)マップ
49	美川商工会
50	美川ライオンズクラブ
51	名鉄観光サービス(株)金沢支店
52	(株)メーブルハウス

以上52社(団体)

ご協力有難うございました。

松任城址公園春まつりに参加

4月15日、松任公民館主催で松任城址公園において春まつりが開催されます。当日は、国際交流サロンに通う外国人学習者による「世界の歌」のステージ発表があります。また、食べ物のブースではサロンに通う外国人が母国の料理を提供します。当協会以外にも、たくさんの団体がステージ発表をし、食べ物ブースを出展する予定です。桜の花も見頃になる季節ですので、ぜひ、お祭りに足を運んでください!

○ステージプログラム 10:00~16:00頃まで

※当協会は14:40~15:00出演予定です。

豪州ペンリス市から高校生14名がやってきます

東日本大震災により来市が延期となっていたペンリスハイスクールの生徒14名(男子2名、女子12名)が、この度、白山市でのホームステイ交流のため来市します。

○来市期間 4月11日(水)~20日(金) 9泊10日

○来市人数 16名(高校生14名、引率者2名)

市民訪問団が中国溧陽市お茶まつりを訪問します

当協会では、設立25周年を記念して、友好都市である江蘇省溧陽市で開かれる「お茶まつり」を訪問する市民訪問ツアーを4月24日~28日(4泊5日)の日程で実施します。「お茶まつり」は、溧陽市で開催される最大のイベントで、期間中15,000人の観光客が国内外から来場します。

一行はお茶まつり参加のほか、天目湖や南山竹海などの溧陽市内視察を行い、27日には上海視察も予定しております。

世界の絵本読み聞かせ アメリカの絵本

○日時 3月31日(土) 午後2時~2時30分

○場所 松任図書館2階 おはなしルーム

○読み手 Bean Casey(ビーン・ケイシー)さん
アメリカ出身

どなたでも参加できます。参加費・申込み不要です。

白山市国際交流協会 部会員随時募集中

当協会では、24年度より協会事業を企画段階から各部会員がアイデアを出し合い、企画・運営することができる部会制の活動をスタートします。事業の企画や運営に関心のある方は、ぜひ部会員になって、一緒に協会事業を考え盛り上げてくださいませんか。

〈現在の人数〉

①日本語部会 33名 ②共生交流部会 17名

③通訳翻訳部会 14名 ④国際理解部会 22名

⑤広報部会 5名 延べ91人(実人数55名)

国際交流サポーター随時募集中

国際交流サポーターは、より広く市民参加の国際交流活動を促進するため、市民の特技、専門等の分野を活用し、市や協会事業への協力を依頼する人材登録です。サポーターは協会会員である必要はありません。詳しくは、HPで紹介しています。みなさんのご協力をお願いします。

〈現在の登録者数〉

①ホームステイサポーター 28名

②通訳翻訳サポーター 58名

③日本語サポーター 52名

④日本文化サポーター 19名

⑤外国文化サポーター 6名 延べ163人

E-mail登録にご協力をお願いします

会員の皆様への各種ご案内の通信手段の合理化を図るため、E-mail登録にご協力をお願いします。

◆E-mail登録先: misalon@asagaotv.ne.jpへ、タイトル「E-mail登録希望」で、ご住所・お名前を明記の上、送信ください。

編集後記

昨年末から意向調査を始めた部会制について、各部会に多くの方が興味を持って部会員となっていたが、蓋を開けるまではどれ程の人数が集まるのか大変不安ではありましたが、今月4日には無事に部会発会式も開催することが出来ました。これは、今後の当協会の発展につながる大きな一歩だと思います。今後、国際交流サロンを中心に部会員の皆様と一緒に事業の企画・運営を行っていきます。今後ともご支援よろしくお願い致します。(A.K)

発行 ■白山市国際交流協会(Hakusan International Association)
事務局/白山市役所観光推進部国際交流課
TEL 274-9520
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp